

授業科目名	スペイン語Ⅱ			担当教員	野村 明衣	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	スペイン語文法の基礎を踏まえ、簡単なスペイン語会話技能を身につけ、スペイン語圏の人々と交流できるようになる。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用単語を増やして、辞書を引きながら、スペイン語文が読めるようになる。</li> <li>2. スペイン語圏の文化についてしらべる。</li> <li>3. 一つのテーマについてスペイン語文を組み立てて、短い発表ができるようになる。</li> </ol>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	導入、規則動詞直説法現在	演習 講義	Unidad 5: 36, 48 頁予習 Unidad 5: 36-39 頁単語	90分	野村	
2	不規則動詞 直説法現在 “hacer”, “ir”、疑問詞Ⅱ	講義 演習	Unidad 5: 40-41 頁単語 課題練習	90分	野村	
3	日常生活を表す動詞 頻度を表す副詞表現 曜日	講義 演習	Unidad 5 復習 Unidad 6: 43-45 単語	90分	野村	
4	前置詞、未来を表す “ir a + 不定詞”、語幹母音変化動詞Ⅰ、“salir”、“venir”	講義 演習	Unidad 6:46-49 頁単語	90分	野村	
5	語幹母音変化動詞、時間	講義 演習	Unidad 6 復習 課題練習	90分	野村	
6	語幹母音変化動詞、月と季節、交通機関	講義 演習	Unidad 6 復習 Unidad 7: 51-53 単語	90分	野村	
7	語幹母音変化動詞Ⅱ、再帰動詞	講義 演習	Unidad 7 : 54-57 単語	90分	野村	
8	語幹母音変化動詞、再帰動詞、住居、天候表現	講義 演習	Unidad 7 復習 課題練習	90分	野村	
9	再帰動詞、天候表現	講義 演習	Unidad 7 復習 Unidad 8: 59-61 単語	90分	野村	
10	直接目的格人称代名詞、“ver”、“saber”、“conocer”、“poder”	講義 演習	Unidad 8: 62-65 頁単語	90分	野村	
11	食べ物と飲み物、レシピ	講義 演習	Unidad 9: 67-69 頁単語	90分	野村	
12	前置詞、間接目的格人称代名詞	講義 演習	Unidad 10: 76,78,79 Unidad 11: 84,86,87 頁単語	90分	野村	
13	動詞 “gustar”、“doler”	講義 演習	Unidad 9、10、11 復習	90分	野村	
14	総復習	演習	1～14回までの復習	90分	野村	
15	定期試験のフィードバック	演習	予習：事前に理解不十分な箇所を学習しておく	60分	野村	

先行履修 科目					
テキスト	スペイン語教材研究会：Entre amigos. 朝日出版社, 2013.				
参考文献	宮城昇・山田善郎 監修：現代スペイン語辞典. 白水社, 1999. 高橋覚二他：¿ケ・テ・パサ? 初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に. 朝日出版社, 2009.				
科目の 位置づけ	リベラルアーツ科目としていちづけられている科目である。英語以外の言語も学ぶことによりグローバルな視点で人間に対する理解力を深めることで本学卒業生に求められる異文化理解力を促す科目である。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権 利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性 を探究する力
	○	◎			
評価方法	定期テスト (50%)、小テスト (50%)				